

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	豊見城市	代表者名	山川 仁
担当者部署	総務企画部	連絡先電話番号	098-850-0246
担当者役職	班長	担当者氏名	後間 大輔
		連絡先E-mail	
住所	901-0292 沖縄県豊見城市宜保1-1-1		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	今回は、次回のDX研修準備のための事前打ち合わせを行った。 元自治体職員として勤務されていたこともあり、自治体での効果的な進め方のポイント等を熟知している。
アドバイザー への要望事項	DX研修内容については、「自治体DX推進計画」「市デジタル化推進計画」の内容に沿うようにお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月6日	10時00分	11時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	豊見城市役所		最寄駅	奥武山駅
	所在地	豊見城市宜保1-1-1		最寄駅からの交通手段	バス又はタクシー
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的に記入下さい)	・自治体DX推進の取組事項について、管理職や職員へ浸透していない。全部署が同じ理解で取り組む必要がある。 ・1月17日～18日に実施していただく研修のスケジュール等の打合せ。	
支援により目指す成果 (具体的に記入下さい)	全庁的に計画の周知強化を行い、自治体DXの推進に取り組んでいく。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	他自治体の事例を踏まえ、全国的なDX推進の進捗等について説明を受けるなど情報をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	自治体DX推進するためには、DX推進部門だけでなく、全庁的な取り組み、職員意識が必要になってくると再認識できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	研修現地実施(17日・18日)については、新型コロナウイルス感染者数増加の状況をみながら10日の週にオンライン開催か塩基にするかの判断を行う。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修の事前打ち合わせのため、アンケートの実施無し。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	自治体DXの推進について、管理職や職員の意識改革を図るための研修等を実施していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

